

# かさま 社協だより

No.49



編集・発行 2022.12.15

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会 笠間市美原3-2-11 TEL.0296-77-0730  
E-mail info@kasama-syakyo.jp URL https://www.kasama-syakyo.jp/



ふれあいサロンはしば（北根西）

撮影 畠山

## もくじ

- 1 第72回茨城県社会福祉大会 ..... 2
- 2 ふれあいサロンはしば・『社協』を知っていますか？その8 ..... 3
- 3 ボランティアセンターだより ..... 4～5
- 4 デジタルボランティア養成講座・  
赤い羽根共同募金ポスター・ちょっといい話 ..... 6
- 5 善意銀行・寄付者紹介 ..... 7
- 6 インフォメーション ..... 8



この広報誌は赤い羽根共同募金の配分金を受けています。

# 第72回茨城県社会福祉大会

## 市内のボランティア・個人が表彰されました

10月19日(水)水戸市のザ・ヒロサワ・シテイ会館で、第72回茨城県社会福祉大会が開催されました。

### 茨城県知事表彰

#### 社会福祉施設職員

ひまわり館・ひまわりキッズ館

大竹 康博

指定介護老人福祉施設かさまグリーンハウス

横山 とし子

特別養護老人ホームかさまグリーンハウス

枝川 庄五

#### 社会福祉援護功労者

学校支援ボランティア

心配ごと相談員

高橋 幸子 鶴田美代子

#### 社会福祉団体関係者

民生委員・児童委員

生天目純子 横堀 松壽

ともべ保育所

後藤 尚美 渡邊 美樹

くるす保育所

高野 有紀

#### 社協職員

佐竹百合子 鈴木美佐代 小林 緑

### 茨城県社会福祉協議会会長表彰

#### 民生委員・児童委員

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 栗原 博  | 竹田 和子 | 船橋 勇一 |
| 前川 幸夫 | 菅谷 幸夫 | 塩田 計子 |
| 来栖川悦子 | 若菜きぬ子 | 武田 富雄 |
| 内桶 正夫 | 伊橋 理代 | 成田 恵子 |
| 鈴木 太子 |       |       |



表彰された方々

#### 施設職員

軽費老人ホームケアハウスかさま

松岡 淳子

ともべ保育所

枝川 智美 園部久美子

#### 自立更生者

自立奉仕会 茨城福祉工場

亀田 浩希

#### ボランティア

笠間麺友会

やまざくら

和カフェ笠間

めだかクラブ

#### 社協職員

加藤 明美 山崎 京子

菱沼 紀子 増淵 明美

#### ホームヘルパー

社協介護保険事業所

小蘭江三奈子

成田 恵子

中森美津子

谷中 幸子

道川 敏子

北條智恵子

仲田美津江

笹嶋 公子

小島 恵子

本多 保枝

富田歌奈子

鈴木きよ子

田中 悦子

高野 礼子

## オープニング・アトラクション

式典に先立って、NPO法人「ポルターモ」による「復興への思いを語り」と音楽でつむぐコンサート」が行われた。

照明を落とした会場の一隅から語り部の女性の朗々とした声で、「古より今に至るまで人々は筑波お山の美しい...」と、アトラクションの幕開けである。

続いて人々の持つ故郷に対する思いの深さについて問いかけ、その思いの深さは11年半前に起きた東日本大震災の被災者が強く持っているのだと語る。

語りは、東日本大震災で九死に一生を得た人々の復興への思い、エピソードを中心に進み、その思いに沿うように女性達の美しい歌声がハーモニー豊かに会場に響いた。

歌「人は皆思いをおこす今は生きて明日を語る...」から始まり、エピソードは宮城県大槌町の被災者が設置した「風の電話」にまつわる話、茨城県総合福祉会館で行われた震災復興チャリティコンサートを機にポルターモがストーリーリーコンサートを始めたことなどが語られた。

コンサートは、震災復興への祈りを込めた「花は咲く」静寂な中に女性達の澄んだ歌声が広がり、人々の大きな拍手の内にアトラクションが終了した。(白土)

### NPO法人「ポルターモ」のプロフィール

ポルターモとはイタリア語で「愛の扉」の意味。音楽大学出身のメンバーを中心に伝統芸術家、舞台経験者等で構成されており、クラシック音楽をメインにコンサートやイベントの出演、学校公演などの演奏活動を行っている。



本市関係者を紹介します。(順不同・敬称略)

## ふれあいサロンのご紹介 ふれあいサロンはしば

岩間地区



代表 矢口 はる美  
「サロンはしば」は、今年9月に開設しました。会員は13人で、主に北根西区橋場地区の女性で構成されています。  
7月に近所の方から、社協で『ふれあいサロン』という事業を勧められているから私達も始めてみないかと話がありました。その方の尽力で話が進み、早速数人で社協の方の説明を聞き、地区の集会で話をしたところ賛同を得られ、わずか一か月程で立ち上げる事が決まりました。

開催は毎月第一土曜日の午



前中、北根公民館で行っています。「みんなで顔を合わせておしゃべりする」のが一番の目的です。地域の交流が少なくなっている昨今、大事にしたいと思います。次に『岩間の伝え話』の編集に携わった方のお話を聞きます。地域にまつわる話なので興味深く好評です。話を聞きたいと新たに参加を希望する方もいます。  
まだ手さぐりの状態ですが、みんなで意見を出し合いながら、より楽しい時間にしていくと思います。そして、長く続くことを願います。

## 『社協』を知っていますか？

その⑧

～総務管理グループの仕事～

総務管理グループは、法人運営など社協全体を支えています



### 法人運営・経理事務・給与事務

- 理事会・評議員会の開催および監査の実施
- 会計事務（予算・仕訳伝票作成・決算）
- 職員給与・賞与等
- 福利厚生等（社会保険・雇用保険・労働保険等）の手続き
- 人事管理（採用・雇用管理・退職等）

### 住民向け各種事業

- 在宅福祉サービス事業
- ふれあいサポート事業
- 障害者就労継続支援B型事業



### 地域福祉事業

- 赤い羽根共同募金運動
- 歳末たすけあい募金運動
- 善意銀行の運営



### 指定管理業務事業

- 地域福祉センター「ともべA・B館、いわま」の管理

# センターだより

くりを目指して

「第一火曜日の会」では、防災の日になんだ講演会を実施しました。東日本大震災当時の気持ちを振り返り、その機会になったとのこと。友部支部ボランティア大集合では映画鑑賞会を、岩間支部ではストレッチ筋トレを、笠間市ボランティア連絡協議会研修会では講話と寄席を、それぞれ行いました。

夏休み中に実施予定だった「キッズ教室（マナー教室と読み聞かせ教室）」が各支所で再開されました。

福祉バザーが、友部・笠間支部で開催されました。



9月1日の防災の日になんだ講演会（講師は笠間市防災士の志村謙一さん）は、こんな話から始まりま

## 「第二火曜日の会」

9/6 地震・災害から自分・家族を守る  
地域福祉センターともへ20人参加

災害は忘れる間もなく

鯉淵 鈴木 義雄

「天災は忘れた頃に...」は寺田寅彦の名言。現代の天災は、忘れる間もなくやって来る」

「茨城県に活断層が無いのは幸いながら、全国最多の有感地震県である事によりはならない」

した。私にとっては、東日本大震災で食器棚の食器をほとんど失って以来、次第に平時ボケが深まる中での、当時の気持ちを振り返り、その機会でした。



防災士の志村さん

講演では、特に地震についてのさまざまな対策のポイントが紹介されましたが、一方で面白かったのは次のような「防災クイズ」。

【問】家にいる時、大きな地震に襲われました。最初に取るべき行動は？

ア)ドアや窓を開ける  
イ)ガスの元栓をしめる  
ウ)机の下にかくれる  
エ)火を消せ！ だったそうですが、正解はウだそうです。



## 9/6 岩間支部「ミニ講座」

木村フィットネススクール

—からだの痛みを予防する体操—



四ツ葉のクロバー 木村 実

皆さん「首・肩・腰・膝」が痛くて病院に行くと、皆「加齢のせいですね」と言われた方が多いと思います。原因は筋肉の衰えが大半らしいですね。

自分が治療、予防の為に学んだストレッチ筋トレを、ボラ連の皆さんにお役に立てたいと開催しました。継続して欲しいとの声に添えて「笑顔で楽しく筋肉アップ」無理なく各自に合ったレベルで、月一回教室を開く事にしました。

## 9/22 友部支部ボランティア大集合

映画鑑賞 沖縄復帰50周年記念作品

乙女たちの沖縄戦～白梅学徒の記録～



太田隆文監督、俳優の城之内正明さんとのトークショー

友部支部会長 川澄 清子

「本土復帰五十年」沖縄戦により本土防衛を目的に日本軍が配備され、連合軍であるアメリカが沖縄に上陸。一般住民が戦闘に巻き込まれ四人に一人の貴重な命を失いました。

白梅学徒は十代で訓練もわずかな中、負傷した兵士、深手を負った人、厳しい悲惨な状況を目の当たりにして、治療看護は並大抵では出来ません。その様な証言をされた女性、監督、俳優の努力が映画に表現され、七十七年前とはいえ改めて「戦争の悲劇」は将来にわたり、あつてはならないと痛感しました。



3年ぶりの開催（笠間支部）

# ボランティア

住みよいまちづ

令和4年度 ボランティア連絡協議会

## 福祉バザー

- 友部支部  
10月22日 友部公民館  
『ふるさとまつりinかさま』
- 笠間支部  
11月5日 社協笠間支所（石井717）

皆様のご協力に感謝!!

### 福祉バザー売上

友部支部 275,411円

笠間支部 207,130円

※収益金は地域福祉活動費として活用させていただきます。



警備担当のメンズ達（友部支部）



第2部はボランティア寄席です。万葉亭小太郎さんに

秋晴れのこの日、とても有意義な一日でした。今回はコロナ禍の中であり人数の制限も行いましたので参加者は140人程でした。この先、コロナ感染を気にせず、希望者が全員参加できる研修会を開催できる日が来ることを切に望みます。

笑いの中に引き込まれ

ボランティア連絡協議会

会長 小室 和子

令和4年度

11/17

## 笠間市ボランティア連絡協議会研修会

第一部

講話「こんな手口にご用心!」笠間市消費生活センター  
余興「ボランティア寄席」

社会人落語家 万葉亭小太郎  
ギター漫談 流しのでっちゃん

11月17日、笠間公民館においてコロナ感染防止対策をとりながら、笠間市ボランティア連絡協議会研修会を行いました。3年ぶりの開催です。

まず笠間市消費生活センター長から、日常の消費行動におけるトラブルや注意点について、具体例を交えながら講演していただきました。とてもわかりやすい説明で、これからは十分注意していきたいと思えました。

秋晴れのこの日、とても有意義な一日でした。

今回はコロナ禍の中であり人数の制限も行いましたので参加者は140人程でした。この先、コロナ感染を気にせず、希望者が全員参加できる研修会を開催できる日が来ることを切に望みます。

10/10

## 『キッズマネー教室』

仕事とお金の話

地域福祉センターともべ 親子18人参加

11/5

## 『キッズ読み聞かせ教室』

地域福祉センターいわま 7人参加  
地域福祉センターいわま 7人参加

11/12



講師のフリーアナウンサー 高信佳子さんを囲んで

11月5日に発声・表現力の基礎を学び、11月12日に「どっこいだんご」という昔話の読み聞かせの練習と発表をしました。高学年がナレーション、低学年がセリフを読みました。児童は少し緊張気味でしたが、澄んだ声で表現力豊かに保護者の前で発表することができました。

また高信先生からも2つの読み聞かせがあり、参加児童・保護者は感動し聞き入っていました。

## デジタルボランティア養成講座



コロナ禍の影響もあり、ここ数年で急速にデジタル化が進みました。いろいろなことが便利になる反面、パソコンやスマートフォン、パソコンの使い方がわからず取り残されてしまう高齢者がいます。そういった方をサポートするため、パソコンとスマートフォン

の基礎を学ぶ講座を実施しています。



スマホの使い方を学ぶ

パソコン講座の講師は(株)KCS三村さん、スマートフォン講座はドコモショップ谷田部さん。地域福祉センターともべで、8月26日から全6回の開催です。



パソコンの基礎を学んだ

### デジタルボランティア養成講座に参加して

飯村 久美子

日常生活の中で、デジタル化が急速に進んでおり、出来ない・苦手と言っている人がいほど必須になったきた事を感じています。多くの情報源として普及し生活環境・速度の変化や視野の広がりなど、とても今後の期待が沢山です。しかし、その様なデジタル化の中「あれ?どうするの」など追い付いていない不安があります。利便性が高い分、正しい理解を身に付けて、不安なく対応できたらと思うので講座に参加しました。

講座は、新たな発見が多く楽しい時間となっています。又、参加者同士がフォローし合いながら、無理なく、安心して参加できる講座です。

赤い羽根共同募金

## 赤い羽根共同募金ポスター

今年度も市内の小・中学生を対象に、赤い羽根共同募金に関するポスターを募集しました。

この事業は、赤い羽根共同募金の推進スローガン『じぶんの町を良くするしくみ。』をテーマに、「この町にあつたらいいな!」と想うことを描いてもらい、赤い羽根共同募金の理解を深め、市民への啓発活動につなげるものです。

今年度は、小学1年生〜小学3年生167人の素晴らしい作品が集まりました。

ポスターは3か所の会場で展示し、幅広い年齢層の方々に見ていただきました。

小学生(低学年・中学年・高学年)の部、中学生の部の



4部門で優秀作品を決定し、次号のかさま社協だよりに掲載します。

また、すべての作品を掲載した「赤い羽根共同募金ポスター集」を発行し、市内の赤い羽根共同募金協力店や公共機関等に置いていただきますので、是非ご覧ください。

応募いただいた児童・生徒の皆さんありがとうございました。

- 10/13〜10/21 ポレポレシティ(イオン笠間店)
- 11/10〜11/23 地域交流センターともべ
- 11/24〜12/8 友部公民館

## ちよと いい話

「ダイバーシティ」という言葉を目や耳にするが増えましたが、ご存知ですか。これは元々ラテン語で、「多様性」や「相違性」という意味で使われます。

私たちの笠間市で考えてみましょう。ここでは、自分だけが暮らしているわけではありません。社会とは自分と他者で成り立っていて、年齢や性別・出身や人種・障がいや病気の有無など、多種多様な人々が生活しています。

例えば、健康な年長者の男性など、自ら選んだわけではないもので優劣があり、他は蔑ろにされたらどうでしょう。怪我や病気などすれば、明日は我が身かもしれません。こんな地域で、安心した暮らしを送れますか?

自分さえ良ければ、という利己的な考え方でなく、「異なる立場だったらどうだろう」と、それぞれ気づき思いやるのが、未来の笠間シティをつくるのです。

(入江)



このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。



# 善意の寄附を「ありがとう!!!」

(善意銀行預託)



令和4年7月1日～令和4年10月31日まで (順不同・敬称略)

## 物 品

エコキャップ・使用済み切手・食品・日用品など



阿内高志  
 常井芳衛  
 箱田京子  
 額田義文  
 笹嶋清美  
 不動院  
 (有)伊藤石材工業  
 岡本興業(株)  
 (有)笠間給食センター従業員一同  
 笠間広域森林組合  
 (株)笠間ソフトメン橋本屋  
 (株)DCL  
 (株)DCLF  
 (株)ダイナム  
 関鉄水戸タクシー(株)  
 キヤノンモールド(株)  
 セキスイハイム工業(株)関東事業所  
 第一生命保険(株)  
 泰栄電器(株)  
 (株)玉越工業  
 田山電工所

常磐システムエンジニアリング(株)  
 (有)永山スポーツ笠間  
 不二製油(株)関東工場  
 真知美容室  
 明治安田生命笠間営業所  
 (有)鍋屋本店  
 県立笠間高等学校JRC部  
 岩間第一小学校  
 友部小学校  
 稲田小児童クラブ  
 岩間第一小児童クラブ  
 穴戸小児童クラブ  
 なかよし学童保育の会  
 みなみ学園児童クラブ  
 岩間保育園  
 大沢保育園  
 おしのべ保育園  
 くるす保育所  
 すみれこども園  
 大成学園いなだこども園  
 大成学園かさまこども園  
 こじか幼稚園  
 さくら幼稚園  
 ともべ幼稚園  
 ドレミ幼稚園

県退職公務員連盟  
 県退職公務員連盟笠西支部笠間分会  
 県退職公務員連盟笠西支部岩間分会  
 笠間工芸の丘  
 更生保護女性会岩間支部  
 東京大学附属牧場  
 土師地区社会福祉協議会  
 日吉町区  
 南友部農事組合法人  
 オリーブ友部館  
 県立中央病院  
 (施設課・消毒室・リネン室)  
 小規模多機能型居宅介護事業所  
 ゆりのき  
 (福)木犀会花の郷  
 (福)木犀会ひまわり館  
 匿名(2件)

## 金 銭

(有)笠間給食センター従業員一同 2,314円  
 (有)永山スポーツ笠間 53,973円  
 阿亀親睦ゴルフコンペ 27,385円  
 匿名(4件) 10,570円



## 4社から寄贈いただきました。ありがとうございました。



(有)笠間給食センター従業員一同様より寄附金をいただきました



(有)永山スポーツ笠間様より寄附金をいただきました



常磐システムエンジニアリング(株)様より温度測定機器をいただきました



セキスイハイム工業(株)関東事業所様より災害時用簡易トイレ・食品等をいただきました

# インフォメーション

information

赤い羽根  
共同募金

## 遺児養育手当のご案内

### 対象者

市内に住所を有しかつ居住する、父母または父か母と死別した義務教育修了前の児童・生徒を家庭において養育している方。

### 持参するもの

- ①遺児の戸籍謄本（初年度のみ）
- ②養育者の世帯全員の住民票
- ③振込先がわかるもの
- ④印鑑

※昨年度申請された方には、郵送でお知らせします。

- 支給額：遺児1人につき 月額2,000円
- 締切：令和5年3月3日（金）
- 申込先：笠間市社会福祉協議会



赤い羽根  
共同募金

## 新入学祝金のご案内

### 対象者

新年度に新入学（小学1年・中学1年）を迎える児童・生徒のうち、次に該当する方。

- ①ひとり親家庭
- ②祖父母家庭
- ③両親のどちらかに障がいがある家庭  
身体障害者手帳1級、2級  
精神障害者保健福祉手帳1級、2級  
療育手帳㉔、A

- 支給額：1人につき 5,000円
- 締切：令和5年3月3日（金）
- 申込先：笠間市社会福祉協議会  
または笠間市役所 子ども福祉課



## 第9回笠間市社会福祉大会

日時：令和5年2月11日（土）13：30～

場所：笠間公民館大ホール

内容：式典（顕彰）と講演会

演題 「木久蔵流 笑うが一番」

講師 二代目 **林家 木久蔵**  
(落語家)

※コロナ感染症の状況等で中止する場合があります。



## いばらきダイバーシティ宣言に登録しました

笠間市社会福祉協議会は令和4年8月23日、「いばらきダイバーシティ宣言」に登録しました。ダイバーシティ社会の実現に向け、誰もが安心して暮らせる福祉コミュニティづくりやユニバーサルデザインに配慮したまちづくり、新たな価値を創出できる人材育成を推進します。

※ダイバーシティ（多様性）



## 心配ごと相談所開設日程表

日常の困りごとなど何でもご相談ください（無料・秘密保持）

時間：13:00～16:00（受付は15:30までをお願いします）

	社協笠間支所 [第2・4火曜日] TEL 0296-73-0084	地域福祉センター ともべ [第2・4水曜日] TEL 0296-77-0730	地域福祉センター いわま [第1・3木曜日] TEL 0299-45-7889
1月	10日・24日	11日・25日	5日・19日
2月	14日・28日	8日・22日	2日・16日
3月	14日・28日	8日・22日	2日・16日
4月	11日・25日	12日・26日	6日・20日

※その他、法律相談もあります。

「オオタニサン」「ショートタイム」メジャーリーグで大活躍している大谷翔平選手の姿が、連日、テレビや新聞などで報道されていた。三振を奪う快速球と豪快なホームランで、次々と記録を更新している。  
体力・スポーツ才能抜群ではあるが、今も現役大リーガーから刺激を受け、研究を続けていると言う。彼の理想は高く、これからも投打二刀流の進化が、大いに楽しみである。  
卯年（令和5年）が、感染防止対策を忘れず、時にはマスクを取って、地域活動の和が広がりますように。

編集後記

(寺門)



SNSのご紹介



公式HP

